令和7年度　学校関係者評価　　自己評価委員会報告書

令和6年度、各評価項目に関して学校関係者評価委員会の意見を伺いながら評価・課題・改善方策を検討し、改善に取り組んできた。その結果を以下の評価とし、今年度の改善方策をまとめた。

【令和6年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標および計画】

令和5年度は、報告をまとめた時期が遅くなったことによる、改善期間の不足があり、成果を上げることが難しかったことを反省し、かねての課題であった『防災訓練』について、令和6年度は地域代表（今泉1丁目自治会長）同席および中央消防署の指導、防災機器管理会社立ち合いのもと、全クラス（専門課程および養成課程合同）学生・教職員合同の防災訓練に取り組めたことは特に大きな成果と考える。

今後の目標としては『①自己点検・評価の取り組みおよび改善』と『②防災訓練の定例化に向けての取り組み』の2つを掲げる。まず、①では、職業実践専門課程の認定対象学科以外の学科にも関連して、教育の質保証、向上を目的として、課題および改善活動を教職員一丸となって共有し、行動することを通して、各セクション、職位にかかわらず意識的な取り組みを図りたい。次に、『②防災訓練の定例化』では、規模、実施時期、内容(火災訓練、避難訓練、その他各種防災訓練など）は、各クラスのカリキュラムやスケジュールに左右される面が否めないが、訓練の定着と、計画、実施、役割分担における主体的な取り組みを目指し、内容の充実を図る。

また、令和6年度の取り組みにより『地域との交流』が生まれたことを機会とし、令和7年度以降『評価項目10-1　社会貢献・地域貢献』についても、より良い関係構築に努め、自己点検・評価で教職員から提案された内容を検討し、今後の新たな目標設定に加えたい。近年激甚化していると言われる災害への対策も万全とは言えない状況であり、学校としての備えが必要と考える。

さらに、令和7年4月に発表した専門課程の募集停止に伴い、各評価項目にも、直接、間接的に影響が見られるが、特に『3　教育活動』『4　学修成果・教育成果』『5　学生支援』において悪影響が一切ないように努め、最終学年の卒業まで遜色のない教育活動を維持し、卒後フォローも変わらず実施する。

令和5年度の自己評価でも挙げていたが、当該学科のカリキュラムは、最終年次まで教育課程編成委員会の意見を仰ぎ、決定して実施する。

評価項目の達成及び取組状況

1　教育理念・目標		前回評価	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2．不適切･1			
1	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）					
	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④	④	3	2	1
	学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	④	④	3	2	1
	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	④	④	3	2	1
	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	④	④	3	2	1
2	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）					
	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか（コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）	④	④	3	2	1
	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか （学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	④	④	3	2	1
	学校における職業教育の特色は明確になっているか	④	④	3	2	1

① 課題

・ 学校の理念等は校舎エントランス、職員室、各教室等常に見える場所にも掲示しているが、更なる周知は必要。

② 今後の改善方策

・ 引き続き日常的な教育場面において学生及び教職員への浸透を図る。また、少数派ではあるが、教員の意見の中には教育理念の唱和を求める声も見られた為、検討したい。

③ 特記事項　　特になし

3 教育活動		前回評価	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2. 不適切･1			
1	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）					
	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	④	④	3	2	1
	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	④	3	2	1
	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	③	4	③	2	1
2	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）					
	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	④	3	2	1
	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	④	④	3	2	1
	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	④	4	③	2	1
	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	④	④	3	2	1
	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	④	④	3	2	1
	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	④	4	③	2	1
	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	④	④	3	2	1
	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	④	④	3	2	1
	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	③	④	3	2	1
	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	④	④	3	2	1
	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	④	3	2	1
	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	④	④	3	2	1
	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	④	④	3	2	1
	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	④	④	3	2	1
3	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）					
	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	④	3	2	1
	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	④	④	3	2	1
	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	④	④	3	2	1
	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	④	④	3	2	1

4	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）					
	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	④	④	3	2	1
5	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（ ① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）					
	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	④	④	3	2	1
	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	④	④	3	2	1

① 課題

・教育課程編成委員会は実施されているが、規定に従った情報公開に留まり、教職員に対する情報共有と、検証に課題が残る。
・ディプロマポリシーは、カリキュラムポリシーと比較すると検証が不足している。定期的な検証を行い、時代やニーズに合わせる。
・教員間の授業見学制度はあるものの、マンパワーの不足や、教員間の遠慮から実施されていないため、改善が必要。
・科目毎のシラバスはあるものの、コマシラバスは本校としては、各教員に対して作成、提出を求めていない。
・学生による授業アンケートが実施されているが、精度の低下(回答率の低さ、フィードバックの不足)があり課題がある。

② 今後の改善方策

・教育課程編成における情報共有について、規定されたホームページ上の情報公開にとどまらず、教職員に対するメール配信など、方法の工夫を行う。
・授業の見学制度改善に関する取り組みについて、学校側の授業見学や、教員間の見学を一律に義務化を検討。
・ディプロマポリシーの検証、改善について、検証を行い、ニーズに沿ったものに改善を図る。
・常勤教員、非常勤講師の負担に対する配慮も必要なことから、コマシラバスに対する暫定の対策として、一定期間は全講師会議などを活用して、シラバス内の1コマごとの内容標記を詳細に記載を求め、2，3年の計画を事前に示し、コマシラバスの作成を依頼する。

③ 特記事項　特になし

4 学修成果・教育成果		前回評価	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2．不適切･1			
1	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）					
	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	④	④	3	2	1
	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	④	④	3	2	1
2	就職率（就職率の向上が図られているか）					
	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	④	④	3	2	1
	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	④	④	3	2	1
	学生の就職活動に関する記録がなされているか	④	④	3	2	1
	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	④	④	3	2	1
3	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）					
	資格取得率の向上が図られているか （目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	④	④	3	2	1
	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	④	④	3	2	1
	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	④	④	3	2	1
	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	④	④	3	2	1
	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	④	④	3	2	1
4	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）					

	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	④	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

・資格や検定に関しては明確な目標を設け結果も出ているが、より合格率を上げていけるよう取り組みを続ける。

③ 特記事項

特になし

５ 学生支援		前回評価	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2．不適切･1			
1	**修学支援**（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）					
	学生への修学支援を適切に行っているか	④	④	3	2	1
2	**就職等進路**（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）					
	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者）に周知されているか）	④	④	3	2	1
3	**学生相談**（学生相談に関する体制は整備されているか）					
	学生相談に関する体制は整備されているか （相談窓口が設置されているか）	④	④	3	2	1
	学生の面談・相談記録があるか	④	④	3	2	1
4	**学生生活**（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）					
	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	④	3	2	1
	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	④	④	3	2	1
	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	④	3	2	1
	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	④	④	3	2	1
5	**中途退学への対応**（退学率の低減が図られているか）					
	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	④	④	3	2	1
	退学率の目標を設定しているか	④	4	③	2	1
	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	④	4	③	2	1
	退学者数を公表しているか	④	4	③	2	1
6	**保証人（保護者）との連携**（保証人との連携体制を構築しているか）					
	保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	④	④	3	2	1
	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	④	4	③	2	1
7	**卒業生・社会人支援**（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）					
	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	④	④	3	2	1
	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	④	4	③	2	1
	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	4	③	2	1

① 課題

・学生への対応は担任を中心に各学科ごとに取り組まれており、小規模校の特長から低い退学にやつながっていると思われるが、学生に特性や病歴があるケースも増えており、担任だけの対応では賄えない部分も大きくなる傾向にある。また、面談記録について書式は統一されていない。

② 今後の改善方策

・退学率について、目標を設定する。退学数の情報公開を是としない意見もあるが、職業実践専門課程の認定においては必須の書式(項目)であり、情報公開を行う。
・保証人(保護者)との計画的な相談会・面談について、以前は実施していたが、保護者側からのニーズが低いことを受け、取りやめた経緯にも鑑み、計画的な面談にこだわらず、書簡等を利用した学生の近況報告や、保護者の学校訪問を自由にするなど、工夫を試みる。
・学生への指導の結果など、記録方法や情報の共有方法を統一することにより、教員間やその他外部機関との連携も考えた制度作りを行っていく。
・卒業生の支援について、ホームカミングデーの実施を検討する。

③ 特記事項

・令和7年度より、月に1回スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーが学生の希望に応じて面談している。

６ 教育環境		前回評価	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2. 不適切･1			
1	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）					
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	④	④	3	2	1
	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	④	④	3	2	1
	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	④	④	3	2	1
	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	③	4	③	2	1
	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	④	④	3	2	1
	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	④	④	3	2	1
2	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか）					
	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	④	3	2	1
	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	④	④	3	2	1
3	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）					
	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	④	④	3	2	1
	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	④	④	3	2	1
	定期的に防災訓練を実施しているか	④	4	③	2	1
	学校における安全管理の整備を行っているか	④	④	3	2	1

① 課題

・図書ホール、書籍の改善　・
分煙は行われているが、文書化された規定はない。また、分煙の設備はあるものの、密閉ではない為、匂い、煙の苦情が多い。　・引き続き、
学生・教職員合同の防災訓練を課題として取り組む。

② 今後の改善方策

・参考図書・関連図書の入れ替えや、図書ホールの環境改善に努める。　・
分煙の徹底と、苦情の解消に努める。
・令和6年度は全校生徒で防災訓練を実施した。内容、方法、時期など調整しながら、今後も学生を含めた訓練を行事化できるよう年間行事にあらかじめ組み込む工夫を行う。スケジュールにより合同で実施できない場合も、実施しないのではなく、教員のみの実施など工夫して毎年実施も定例化、定着を図る。学内に防災チームを作るなど、定期的な点検を行う。

③ 特記事項

・令和6年度学生を含めた防災訓練を実施した。

7　学生の受入れ募集		前回評価	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2．不適切･1			
1	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）					
	学生募集活動は、適正に行われているか	④	④	3	2	1
	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	③	4	③	2	1
	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	④	④	3	2	1
	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	④	④	3	2	1
	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	④	④	3	2	1
	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	④	④	3	2	1
	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	④	④	3	2	1
2	入学選考（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）					
	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	④	④	3	2	1
	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	④	④	3	2	1
3	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）					
	学納金は妥当なものとなっているか	④	④	3	2	1
	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	④	④	3	2	1

① 課題

・募集停止にて、実施していない。

② 今後の改善方策

・全学生が卒業後、新学科設立に向けた調査、準備を行う。

③ 特記事項

・令和7年4月　専門課程全学科の募集停止を発表した。

8 教育の内部質保証システム		前回評価	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2．不適切･1			
1	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）					
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	④	3	2	1
	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	④	3	2	1
	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	④	④	3	2	1
2	個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）					
	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	④	④	3	2	1
	個人情報保護規程が文書化されているか	④	④	3	2	1
	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	③	4	③	2	1
3	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）					
	学校教育、学校運営について、自己点検･評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	④	4	③	2	1
	自己点検･評価報告書にまとめているか （自己点検･評価報告書があるか）	④	4	③	2	1
	自己点検･評価の組織があるか	④	4	③	2	1
	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	④	4	③	2	1
4	改革･改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検･評価活動の実施体制を確立して改革･改善のためのシステムが構築されているか）					
	自己点検･評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	④	4	③	2	1
	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	④	3	2	1
	自己点検･評価の結果に基づき改善計画を策定したか	④	4	③	2	1
	自己点検･評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	④	4	③	2	1
	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	④	4	③	2	1
	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	④	4	③	2	1
5	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）					
	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	④	3	2	1
	自己評価結果を公開しているか	④	4	③	2	1
	学校関係者評価結果を公表しているか	④	4	③	2	1

① 課題

・古くなった学内諸規定の見直しを行う必要がある。
・個人情報の取扱いについて、周知、意識付けに課題がある。
・自己点検、評価について、安定的な実施と情報共有、課題の改善について、教職員の強い要望があることがわかった。・職業実践専門課程の規程に基づき、自己点検･評価には複数年取り組んでいるが、アンケートの回答から全体的に周知されていないことが浮き彫りとなった。定期的に意識づけの機会を設けることが必要。

② 今後の改善方策

・各種の規程について改善の必要性を確認し、見直しが必要なものは、早急に修正を行う。また、説明の機会を設け、定期的に意識づけを行っていく。
職員室内において個人情報を保管する場合は、机の施錠、PC画面は、ブラインド化を徹底する。
・卒業生の卒後フォローについて、ホームカミングデーを設け、情報収集とつながりの強化、フォローアップを行う。
・担当者の都合に左右されず、時期、内容、課題の共有とフィードバックを安定的に行える『自己点検、評価』を教職員一丸となって実施する。

③ 特記事項　特になし

10 社会貢献・地域貢献		前回評価	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2. 不適切･1			
1	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）					
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献･地域貢献を行っているか	④	4	③	2	1
	地域に対する公開講座･教育訓練（公共職業訓練等を含む ）の受託等を積極的に実施しているか	④	④	3	2	1
2	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）					
	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	④	4	③	2	1

① 課題
地域との更なる交流と、連携強化を図る。

② 今後の改善方策

・学校として取り組むことができる社会貢献や学生へのボランティアの紹介、学生の地域清掃ボランティアは行っているが、地域に対する公開講座など更なる地域貢献実を教職員の意見を反映して実施する。

③ 特記事項
・本校のステークホルダーでもある各種団体から学校施設の貸し出し依頼を受け、実施している。

11 国際交流	

学科の性質上、国内の学生を対象にする学科のみ開設している状況であり、留学生の受け入れは就職先の確保とともに困難であると判断し行う予定はないため、評価は行なっていない。